

## 2019 年度英国派遣 帰国報告

北谷中学校 3 年 花城一華・親川美月・末吉優衣・末吉裕喜  
北谷中学校 2 年 大嶺聖人  
桑江中学校 3 年 奥間未夕・傳道 有・安里駿佑

私たちは11月15日から22日までの8日間、北谷町の代表としてイギリスの地で多くの経験をし、学んでまいりました。今日はその様子を感想を交えながら報告させていただきます。

出発の日。この日は朝6時に空港に集合しました。

飛行機に乗った瞬間からとても緊張して不安がこみ上げてきましたが、映画を見たり友達と話しているうちに緊張が少しずつ溶けてきました。イギリスが見えてくると緊張よりも楽しみな気持ちの方が勝ってきました。ヒースロー空港に着くとディーンマグナスカールの先生が迎えに来てくれていて、3時間半ほどかけてホテルまで送り届けてくれました。車の窓から見える景色でさえ、沖縄と違って実感がわいてきました。ホテルの夕食は味が濃く、量もとても多くて全部は食べきれないほどでした。

2日目はホストファミリーがホテルまで迎えに来てくれ、各々が家族と過ごしました。ホストファミリーの家やディーンマグナスカールのあるフォレスト・オブ・ディーンはハリーポッターの舞台ともなった森で、緑が多く、広い草原には羊や牛、馬がたくさんいて驚きました。車の窓から見える景色が霧がかかっていて、とても幻想的で感動しました。

3日目、日曜日はメンバーとホストファミリーの家庭ごとにロンドンで観光をしました。ロンドンはフォレストオブディーンとは違い、賑やかで高いビルがたくさんありました。観覧車に乗ったり、船に乗って川の上流のタワーオブロンドンへ行きました。昼食は駅の中にあるイギリス伝統のミートパイを売っている店に行き、食べました。匂いはまるで肉まんのようなようでした。

ロンドンの町並みはレンガで作られた建物が多く、現代と古代が混ざり合ったとても素敵な街でした。バッキンガム宮殿はとても美しく、本当に沖縄とは別世界のようでした。一番印象に残っている場所はタワーオブロンドンです。イギリスの歴史を学ぶことができ、処刑場や日本の甲冑もあつたりして驚きました。

4日日月曜日。この日は初めてディーンマグナスカールに登校しました。フランス語の授業ではみんな真剣に授業をうけていて、先生が誰かを当てる前にみんな積極的に手を挙げていて、素晴らしいなと思いました。男女仲が良さそうで、楽しそうな雰囲気があり、明るく「コンニチハ」といろんな人が声をかけてくれました。自動ドアがあつたり、ジムのような器具があつたり、日本の学校にはないものばかりで驚きました。

ディーンマグナスクールでは、髪の色や身長、目の色などみんな違う個性豊かな人が集まり、とても賑やかでした。すべての授業で生徒が静かで集中し、寝ている人やおしゃべりをしている人はいませんでした。数学の授業では一人一人にホワイトボードが与えられ、それを先生に発表したりするなど日本と授業形式がだいぶ違いました。

休み時間には私たちと変わらないくらいおしゃべりを楽しんでいて、通りすがったらみんな挨拶してくれたり、サポートしてくれたり親切でした。

5 日目、午前中はフォレストビュー小学校を訪問しました。ここは進学校らしく、校舎がとても立派でした。私たちのプレゼンテーションの後、お礼に歌をプレゼントしてくれました。とても可愛くて楽しかったです。30分ほど運動場で遊んだときはたくさん日本のことについて質問され、子供たちの話す英語は速すぎて全然聞き取れなかったけど、いやな顔せずに何度も教えてくれとても嬉しかったです。

6 日目、午前中3年生が授業で習字を披露しました。みんな興味を持ってくれたようでした。午後はグロスターに観光に行き、ハリーポッターの舞台となった大聖堂を見学しました。窓の外からの光が差し込み、ステンドグラスに映ってとんでもない幻想的でした。その後はザ・ドックスのクリスマスマーケットへ行きました。駿佑先輩が踊らされたりメリーゴーランドに乗ったりとても楽しかったです。

最終日、学校へスーツケースを持って集合しました。最初は全然お別れとは感じませんでしたが、集合写真を取り終わるととても寂しくなって泣きそうになりました。でも最後は笑顔で終わりたいと思ったので、少し我慢して頑張りました。ほかのみんなも泣きそうになるのをこらえていたようでした。

## 【ホームステイ】

### ●美月

私がお世話になったのはウィットソン家です。お母さん、お父さんはとてもやさしく、パートナーのデイジーとそのお姉ちゃんはとても仲が良く素晴らしい家族でした。意外にもお土産のゆびはぶが好評で、とても面白がってくれ、自分の手作りの切り絵も喜んでもらえて良かったです。大変だったことはナイフとフォークがうまく使えず食事をするのも一苦労だったことです。お別れの時、「次は沖縄だね」という約束をしました。

### ●未夕

私のホームステイ先は以前私のうちにホームステイをしたマーサのいるハンプソン家です。スーツケース半分のお土産を持って行って、だるま落としや孫の手、福笑いをしたりして盛り上がりました。オックスフォードでは大学や教会に連れて行ってくれ、ロンドンでは地下鉄に乗ったりと、イギリスの文化的なものにチャレンジさせてくれ、いつも笑顔で優しく、本当に温かい家族でした。イギリスと沖縄で一週間ずつ過ごしただけの短い間だったけど、お別れするときは涙を流してくれ、本当の家族のようでした。感謝の気持ちでいっぱいです。次はホストファミリー

ーみんなを沖縄に招待したいです。

●有

私のホストファミリーはハーベイ家でした。家族みんなすごく優しく、いつも私のことを気にかけてくれました。おなかが痛くなった時も心配して薬を買ってきてくれたり、エアホッケーやボーリングをしたりと色々な体験をさせてくれました。ビッキーと一緒にトランポリンやサッカーゲームをしたことはいい思い出です。習字の時間にビッキーと両親の名前を当て字にして漢字で書き、家に帰って渡すと「額に入れて飾る！」と言って、とても喜んでくれました。

●聖人

僕がステイしたのはマーキイ家です。以前沖縄でホストファミリーとして過ごしたジャックはとてもいい人で、その家族もとても人が良かったです。お土産に味噌汁をあげたら驚いていました。帰るときは長いようであつという間に過ぎた時間を思い出して、涙もろくなりました。日本に帰りたくなくなりました（少しです。）

●優衣

私のホストファミリーはタイラー家でした。初日アイススケートに連れて行ってくれ、私はなかなかコツをつかめませんでした。楽しい時間を過ごせました。お母さんはとても元気で、地元のスーパーや農場に連れて行ってくれとても楽しかったです。お父さんはとても気を遣ってくれ、サラは少しシャイだけど優しくしてくれました。お別れするとき、「またイギリスに来ることがあったらいつでも来てね」と言ってくれてとても嬉しかったです。

●駿佑&裕喜

僕たちがお世話になったのはシュー家です。お母さんはいつも僕たちのことを気遣ってくれ、夕食には大量のフィッシュアンドチップスを食べさせてくれました。双子の弟たちチャーリーとジョージはゲームが大好きでいつも遊んでくれました。お別れの時はとっても悲しかったです。この見知らぬ日本人を温かく家に迎え入れてくれたことに対し、家族全員に感謝しています。

●一華

私のホームステイ先はコットレル家です。お父さんは子供にやさしく、ペットも大好きで、お母さんは私が聞き取りやすい英語で話してくれ、日本や沖縄のことをたくさん聞いてくれました。シャーロットはいつも私を助けてくれてとても大人っぽい女の子で、シーサーの柄のフェイスパックをあげたらとても喜んでくれました。妹のオリビアは恥ずかしがり屋さんだけど、さりげなく優しい子でした。一週間このホストファミリーと過ごして、お別れの時には寂しさと感謝の気持ちがかみあげてきました。離れるのが嫌でした。この一週間は人の温かさと優しさに触れることができ、とても幸せでした。

## 【英国派遣の体験から得たこと、将来の希望や抱負】

### ●美月

私は今回、ディーンマグナススクールからは勉強に対する姿勢を学びました。積極的に発表したり、ノートをとるときは静かになるなど、とてもメリハリがしっかりしていました。私は今回の派遣で英語を学ぶ意欲がより向上したので、自分の将来の為にも勉強に励みたいと思います。

### ●未夕

私はこの英国派遣を通してたくさんの学びと、文化や習慣の違いを知ることができました。たくさんのイギリスの人たちとコミュニケーションがとれて、こんなつたない英語でも理解しようとしてくれて友達の輪が世界まで広がって嬉しかったです。今の私の夢は国際交流を主とする仕事について、もっと世界中の人と関わることです。そのためにも次に会う時までにもっと英語力を向上させ、これからも勉強を頑張ろうと思います。

### ●有

私はこの体験を通し、自分から積極的にわかる言葉で伝えようとしたら伝えることができると知りました。自分の言葉で話すと相手も理解しようとしてくれたからです。気持ちが大切なんだと知りました。私はこれからもっと英語を勉強し、留学などに挑戦していきたいと思います。

### ●聖人

僕は今回、世界は広いということを学びました。寒さも、物価も、何もかも沖縄と違いました。沖縄だけから学ぶのではなく、学ぶなら世界から、と感じました。これからも挑戦することをどんどん増やしていきたいです。

### ●優衣

私はこの体験を通してイギリスの文化や食べ物、人を今までよりも知ることができ、日本の良い所を改めて知ることができました。また、お互いの文化を理解することで、コミュニケーションをとるいいきっかけになることが分かりました。将来は色々な国の文化などをたくさん知って、いろんな国の人とコミュニケーションを取って、自分の視野を広げたいと思います。

### ●裕喜

僕は今回、伝えたいという気持ちがあれば伝わるんだということ、愛があれば通じるということがわかりました。この体験を通し、いろいろな国の人と触れ、異文化を理解して接することが大切なんだとわかりました。

### ●駿佑

私は今回の体験を通し、イギリスの文化や生活スタイルだけでなく、行かないと感じられない現地の人々の優しさや温かさを知ることができました。また、英語圏で生活することで英語でコミュニケーションをとり、相手の考え方や価値観についても知ることができ、海外の人々と触れ合う楽しさを知りました。行くまでは不安だったホームステイでしたが、初めてのホストファミリー

一の方々がとても優しかったので、高校でも機会があればこのようなプログラムに積極的に参加しようと思います。

●一華

私は今回の派遣で英語の能力が上がったと思います。また、イギリスに行ってたくさんの人の優しさとありがたさを学ぶことができ、北谷や沖縄に帰っても身の回りの人を大切にしようと思いました。異文化を互いに理解することができ、新しいことを学べてよかったです。私たちは北谷町の代表として今回の経験で得たことを沖縄、日本で伝える使命があるので、みんなに伝えていきたいです。

【感謝の気持ち】

最後に、この英国派遣に携わってくださったすべての人に感謝したいです。私たちを受け入れて下さったホストファミリーの皆さん、この素晴らしい機会を与えてくれた北谷町と教育委員会の皆さん、指導してくださった先生方、そして私たちを一番に支えてくれた家族のおかげで、私たちは忘れられない経験をして帰ってくることができました。

これからも、北谷の代表として、一人ひとりが夢に向かい、与えられた場面で頑張っていきたいと思います。

これで、派遣生8名の発表を終わります。ありがとうございました。